

平成24年度 町の決算を 報告します

平成24年度の町の収入と支出の「決算」がまとまり9月の町議会で承認されました。そこで、昨年度どんなことにお金が使われたかをお知らせします。

町の会計は、町民の皆さんのサービスの基本となる「一般会計」と特定の事業を行う「特別会計」に分かれています。ここでは一般会計について説明します。（特別会計については13ページ参照）

前年度の決算とどう変わったの？

収入・支出決算の比較表を見てみると、収入については自主財源の大部分を占める町税において、地価下落や評価替えによる既存宅地等の調定減により固定資産税が減ったものの、年少扶養控除の廃止や収納対策強化による徴収率の増等に伴う町民税の増、登録台数の増による軽自動車税の増により、町税全体で見ると前年度に比べ、1%（6,946万円）の増となりました。また、国・県からの支出金は、平成24年度から沖縄振興特別推進交付金が創設されたことや、法人保育園の定数増に伴う運営費補助

金の増、介護給付・訓練等給付事業の事業費の増に伴う国・県負担金の増等により前年度に比べ15.7%（5億804万円）の増となりました。地方交付税についても、普通交付税において、平成23年度報告数値の誤りにより減額された分が措置されたことにより前年度比39.8%（7億6,512万円）の大幅増となりました。

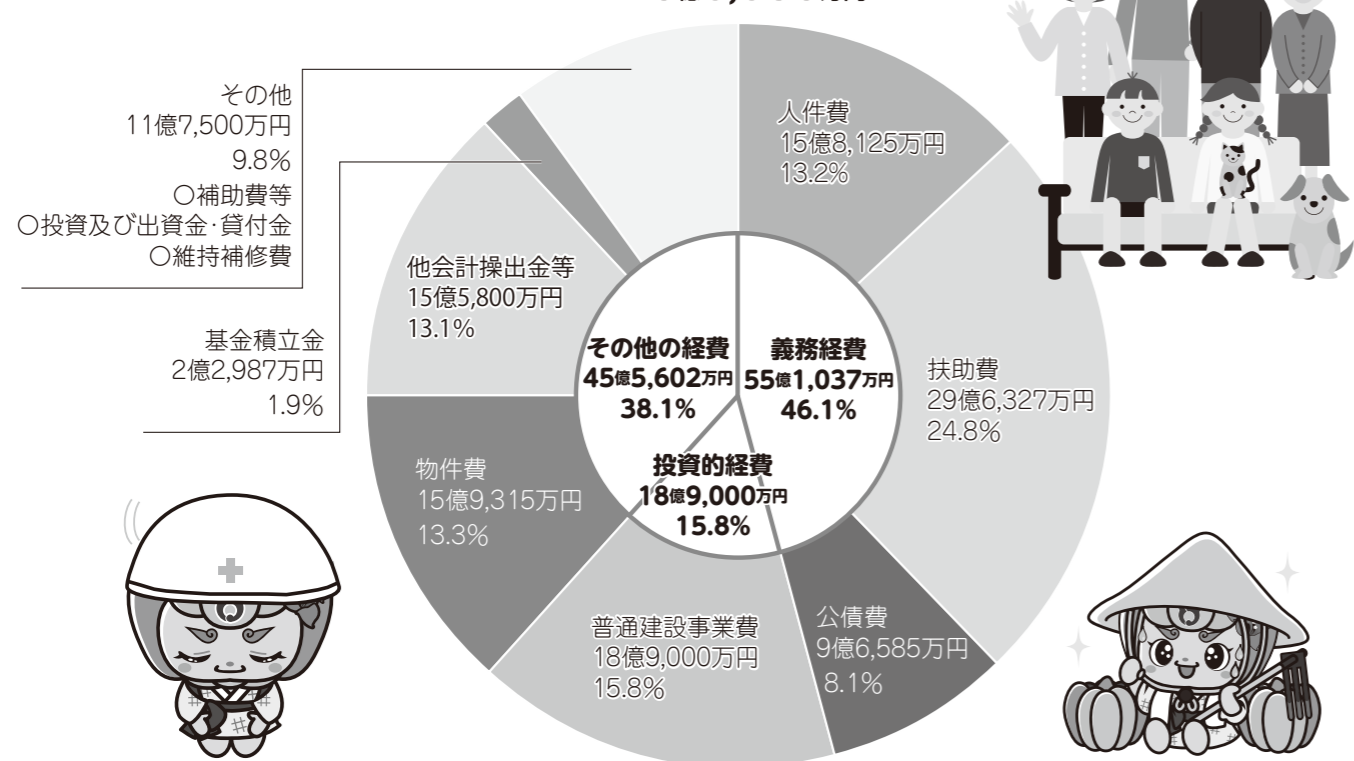
次に支出については、扶助費が、児童手当費、介護給付・訓練等給付事業、定数増に伴う法人保育園への運営費補助金の増等により5.8%（1億6,236万円）の増、普通建設事業は、新規事業で公園を整備する都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業、沖縄振興特別推進交付金を活用した高圧線鉄塔高上げ事業、防災無線整備工事の増等や、法人保育園を改築する保育所緊急整備事業補助金の増等により、18.9%（3億3,700万円）の増となりました。また、物件費においては、住民情報システムの入れ替えが完了した事による減はあったものの、沖縄振興特別推進交付金を活用した戦災滅失戸籍等沖縄関係電算委託料、無線インフラ・観光システム構築委託料の増等により、3.2%（4,905万円）の増となりました。

一般会計は、平成24年度も赤字決算になりましたが、平成20年度決算より赤字決算になっている国民健康保険特別会計、平成24年度から単独事業が開始した土地区画整理事業特別会計への繰出金の増加、加算している一部事務組合への負担金の増加なども見込まれているため、引き続き将来にわたって安定的な財政運営に努めていきます。

今後とも町民の皆様の町財政へのご理解とご協力をお願いいたします。

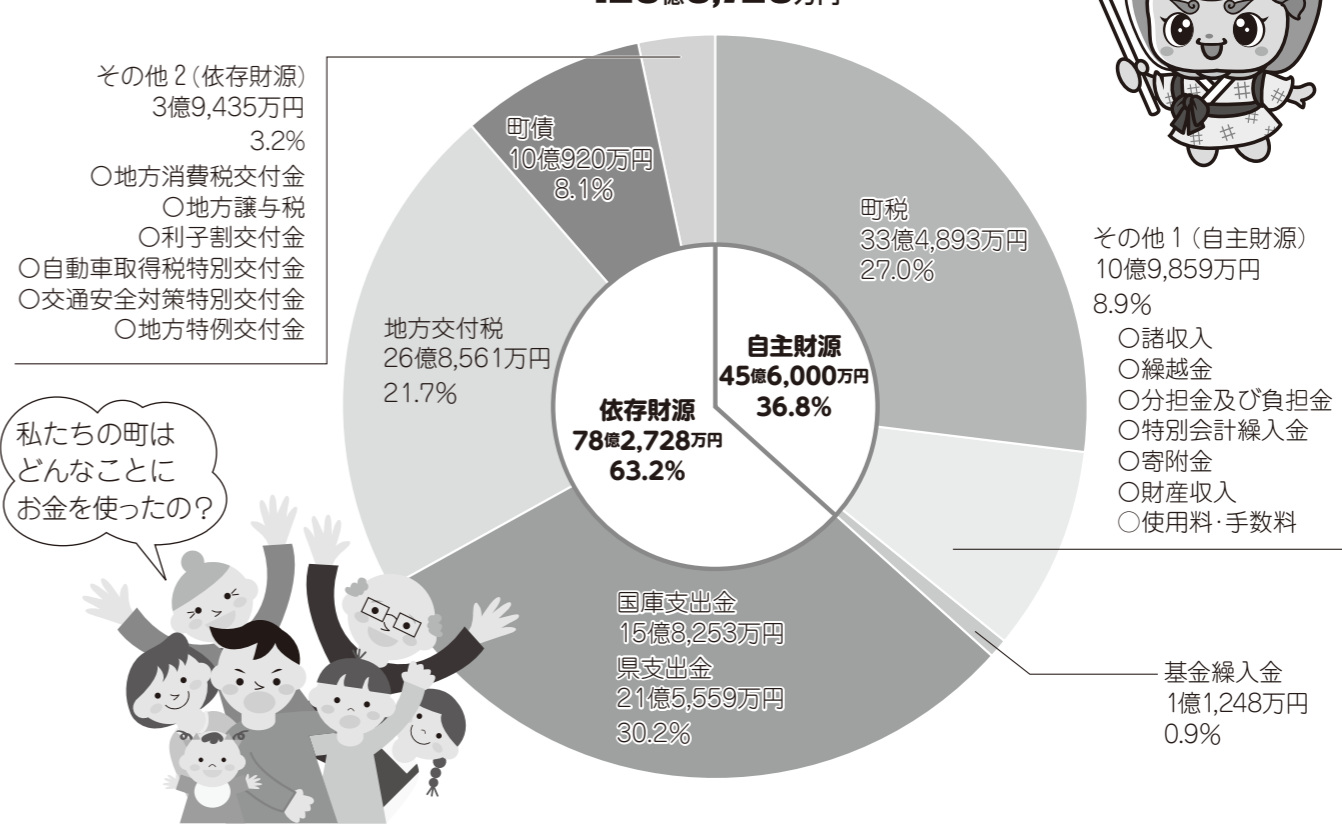
町が使ったお金（一般会計支出）

119億5,639万円



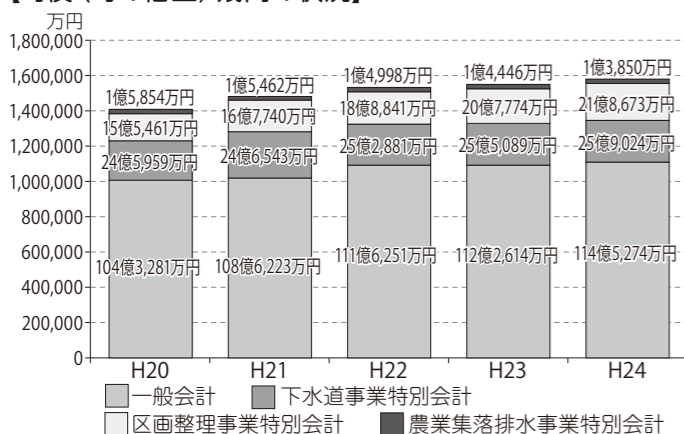
町に入ってきたお金（一般会計収入）

123億8,728万円



平成24年度と平成23年度 一般会計決算比較

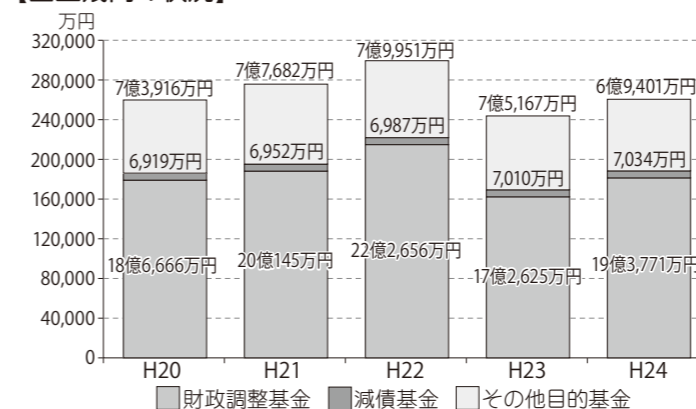
【町債（町の借金）残高の状況】



【支出・性質別】

項目	H24決算額	H23決算額	前年比 (%)
人件費	158,125	155,043	2.0
扶助費	296,327	280,091	5.8
公債費	96,585	96,316	0.3
普通建設事業費	189,000	158,963	18.9
物件費	159,315	154,410	3.2
他会計繰出金等	155,800	133,511	16.7
基金積立金	22,987	13,595	69.1
その他	117,500	116,009	1.3
歳出合計	1,195,639	1,107,938	7.9

【基金残高の状況】



【収入】

項目	H24決算額	H23決算額	前年比 (%)
町税	334,893	327,947	2.1
その他①(自主財源)	109,859	105,484	4.1
基金繰入金	11,248	64,158	▲ 82.5
国・県支出金	373,812	323,008	15.7
地方交付税	268,561	192,049	39.8
町債	100,920	83,480	20.9
その他②(依存財源)	39,435	41,020	▲ 3.9
歳入合計	1,238,728	1,137,146	8.9